

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect



帯広市立豊成小学校 キャリアプロジェクト通信

令和6年12月4日
NO.12 文責 河村

キャリア

豊成の自然と伝統を守る活動に取り組んでいます！

11月12日（火）に、6年生を対象に「生き物どうしのつながり」（理科）の学習を行いました。この単元の大切なキーワードである「食物連鎖」から「外来種」について着目し、学習を展開していきました。

具体的には、「外来種」にはどんな生き物がいるのか、どうして日本に来たのか、どんな悪影響があるのかなどについて、6年生のみんなで確認し合いました。

そこから、私達の身近な川（機関庫の川）に生息している「ウチダザリガニ」の駆除について、また、命についての考えを深める時間となりました。



その翌日、教室での学習を基に、6年生全員で、生き物の命の重さについて考えながら、翌年の農園活動に生かされる「命のプレゼント」として、「ウチダザリガニ」の有機肥料作りに取り組みました。この日も、熱心に作業に取り組んだ子どもたちですが、その作業を含め、計8回の繰り返し作業を実施しました。

初めは、腐敗臭が強い「ザリガニ堆肥」も、日数が経過するうちに、においも薄れていき、作業の後半になると、エビやカニのようないいにおいに変化する様子も感じ取ることができました。今回の作業で仕上がった「ザリガニ堆肥」は、3月7日（金）の「6年生を送る会」で在校生にプレゼントする予定となっています。

毎年6年生が行っているこの活動は、低学年の生活科の学習からつながりをもって取り組んでいる学習です。今後も、豊成のよさや学びを誇りとし、心と体を育てる「生きる力」を育成する授業を実践していきます。



ザリガニ堆肥の材料となっているのは、ウチダザリガニ（機関庫の川から捕獲したもの）4kg 米ぬか10kg おから10kg もみがらくん炭5kg に、水を加えながらかき混ぜていきます。どの材料も、地域のお店や企業のご協力をいただきながら購入したものです。例年たくさんのサポートをいただいている地域の皆様に感謝です。